

舌切除+植皮術を受けられる患者さんへ

患者氏名

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

項目	月日	(入院日/手術前日)	(手術当日)	(術後1日目)	(術後2日目)	(術後3日目)	(術後4日目)	(術後5日目)	(術後7日目)	(術後9日目)	(術後11日目)	(術後12日目)
達成目標		入院の目的が理解できる 入院時の説明が理解できる	手術後の安静を守ることができる 感染予防策を行うことができる						経口摂取が可能である		創部感染所見がない 熱発37.5度以下である	心理・社会面に問題がない 退院指導が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		入院時、持参したお薬の確認を します 抗血栓薬(血液を固まりにくくす る薬)を内服している場合はお 知らせください ポビドンガールグールの口腔ケ アを開始します リンパ節の転移を調べるため に、舌に注射をし、撮影を行 います 毎日、医師の診察があります 平日(8時30分~) 火曜日(7時30分~) 土日祝日(9時~)	<手術前> 手術の前に、手術着に着替え ます ひげそりが必要な方はひげそ りをしていただきます 手術が2番目以降の場合、9時 頃から点滴が開始となります 朝の内服薬は、医師が指示し たものを内服します 必要時、弾性ストッキングを履 きます 手術前に口腔ケア(イソジンう がい)を行って下さい <手術後> 病室に戻ったら、酸素マスク、 心電図をつけます 傷の痛みが強い場合は坐薬や 点滴などの痛み止めを使用し ます 植皮した舌の部分にガーゼが 縫いつけられています。状態に 応じて術後1週間前後で外れる 予定です 抗生物質の点滴を2回/日(朝・ 夕)行います 持続点滴は継続します 看護師が、口腔内を消毒します	着替えをします 弾性ストッキングを履いている 場合は、歩行開始後に脱ぎま す					抗生物質の点滴は 夕で終了です 医師の許可が出た ら、持続点滴が終 ります			
検査		外来で採血や肺機能検査、胸 部レントゲン検査を受けていな い場合は、入院時に受けます		採血		採血		採血				
活動・安静度		制限はありません	ベッド上安静となります	歩行可能となります 最初の歩行は看護師が付き 添います	制限はありません							
食事		夕食までは制限はありません 麻酔科医師の指示に沿って、 絶食や水分制限を行います	1日絶食です 	朝食から、鼻から挿入している胃管より、流動食を注入します 医師の許可が出るまで、口から食べ物、飲み物は摂れません					昼食から高5分粥食	全粥食		
清潔		制限はありません	入浴はできません	入浴はできません 温かいタオルで体を拭きます				医師の許可が出たら、シャワー浴ができます 探皮部分は濡らしても良いと許可が出るまで、シャワー浴の前に傷口を防水カバーで保護します				
排泄		制限はありません	状態に応じて、尿の管が入りま す 尿の管がない場合は、医師の 許可が出るまではベッド上で尿 器を使用して排泄します	歩行状態を確認して、尿の管 を抜きます トイレへの歩行が可能となりま す	制限はありません							
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		入院後は、病棟内をご案内し、 入院生活について説明します 手術のオリエンテーションを行 い、手術当日や翌日以降の説明 をし、術前の準備を致します 口腔ケアの方法は、パンフレッ トで説明します 必要時は、弾性ストッキングの サイズを測定し準備します 医師から手術についての説明 があります		口腔ケアの指導を行います							退院後の生活を踏まえて、看護師が退院指導を行います 状況を見て、薬剤師による薬剤指導があります	

注:イラストはMPCのイラスト集より転載